

○水生生物モニタリング調査結果一覧（はやま湖G）

＜はやま湖G 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
G－1	○	○	○	○	○	○
G－2	○	○	○	－	○	－
G－4	○	○	○	－	○	－

＜はやま湖G 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度（m）
G－1（表層）	37.7322°	140.8127°	R5.8.30	10:58	11:21	31.2	25.0	軟泥	7.5Y5/2	植物片	5.1	2.0
G－1（下層）				11:04		28.4						
G－2（表層）	37.7267°	140.8223°		09:55	10:04	31.5	29.1	軟泥	7.5Y5/1	礫	2.6	2.3
G－2（下層）				10:01		30.1						
G－4	37.7382°	140.8035°		13:30	13:34	30.6	30.2	砂礫	7.5Y5/2	植物片	0.1	>1.0

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約400m下流側へ移動。

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
G－1 (表層)	37.7322°	140.8127°	R5.8.30	10:58	7.4	0.9	4.2	8.2	9.6	0.05	2.2	4	3.3	N.D. (0.0014)	0.028	—
G－1 (下層)				11:04	7.3	1.0	4.5	7.8	10.0	0.05	2.3	5	4.0	N.D. (0.0013)	0.031	0.00094
G－2 (表層)	37.7267°	140.8223°		09:55	7.8	0.7	4.1	8.2	9.5	0.05	2.3	2	2.1	N.D. (0.0014)	0.025	—
G－2 (下層)				10:01	6.9	<0.5	3.0	1.5	9.2	0.05	1.5	3	2.6	N.D. (0.0014)	0.018	—
G－4	37.7382°	140.8035°		13:30	8.2	<0.5	2.6	8.0	10.7	0.06	1.4	<1	0.6	N.D. (0.0012)	0.0091	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約400m下流側へ移動。

＜はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
G－1	37.7322°	140.8127°	R5.8.30	11:21	7.2	63	53.5	14.7	64.0	2.500	0.0	0.0	0.1	3.1	62.8	34.0	0.013	2.0	47	2600	2.3
G－2	37.7267°	140.8223°		10:04	7.2	118	39.8	9.4	34.0	2.560	4.4	4.8	7.7	12.1	48.4	22.6	0.032	4.8	37	1800	－
G－4	37.7382°	140.8035°		13:34	7.7	474	25.5	2.4	1.2	2.670	26.3	44.2	19.6	3.3	2.7	3.9	1.3	9.5	3.3	170	－

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

注) はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約400m下流側へ移動。

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
G-1 G-2 G-3	湖内	37. 7322°	140. 8127°	R5. 8. 30	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン（浮遊藻類）	—	0. 022	—	—	—	4. 2	N. D. (1. 7)	4. 2	—
		脊椎動物	硬骨魚		コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	2. 7	成魚	不明消化物	内臓除去	59. 6	1. 6	58	0. 29		
		脊椎動物	硬骨魚		コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	1. 9	成魚	不明消化物	内臓除去	27	N. D. (1. 5)	27	0. 44		
		脊椎動物	硬骨魚		ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	1. 1	成魚	空胃	内臓除去	89	N. D. (1. 8)	89	0. 61		
G-4	流入河川	37. 7382°	140. 8035°	R5. 8. 29	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 025	—	—	—	56	N. D. (7. 9)	56	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	104	0. 015	幼虫	—	—	13	N. D. (2. 7)	13	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	179	0. 020	幼虫（ヤゴ）	—	—	5. 4	N. D. (2. 0)	5. 4	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトボ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ									
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	41	0. 027	幼虫	—	—	3. 9	N. D. (1. 8)	3. 9	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	29	0. 011	未成体/成体	—	軟体部	6. 5	N. D. (3. 7)	6. 5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	93	1. 6	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	10	N. D. (2. 0)	10	0. 24
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	4	0. 039	未成魚	—	—	11	N. D. (2. 8)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	2	0. 75	未成魚/成魚	コオニヤンマ	内臓除去	79	N. D. (1. 6)	79	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	6	0. 13	未成魚	スズキ・トビケラ科、ヒラタゲロウ科、トビケラ科・サマシギイ	内臓除去	13	N. D. (1. 7)	13	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	13	0. 057	未成魚/成魚	—	—	11	N. D. (1. 1)	11	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius flumineus</i>	カワヨシノボリ	128	0. 12	未成魚	—	—	7. 1	N. D. (1. 6)	7. 1	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0. 58	成魚	空胃	内臓除去	52	N. D. (1. 5)	52	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 27	—	—	—	32. 2	1. 2	31	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。

※9：はやま湖（真野ダム）G-1地点は、渇水により約400m下流側へ移動。